

# 環境保全型農業直接支払交付金の 実施状況について

愛知県農業経営課

環境・植防・肥料農薬取締グループ

# 御検討いただくこと

---

（開催要領より抜粋）

第2条 委員会は（中略）次に掲げる事項について意見交換を行う。

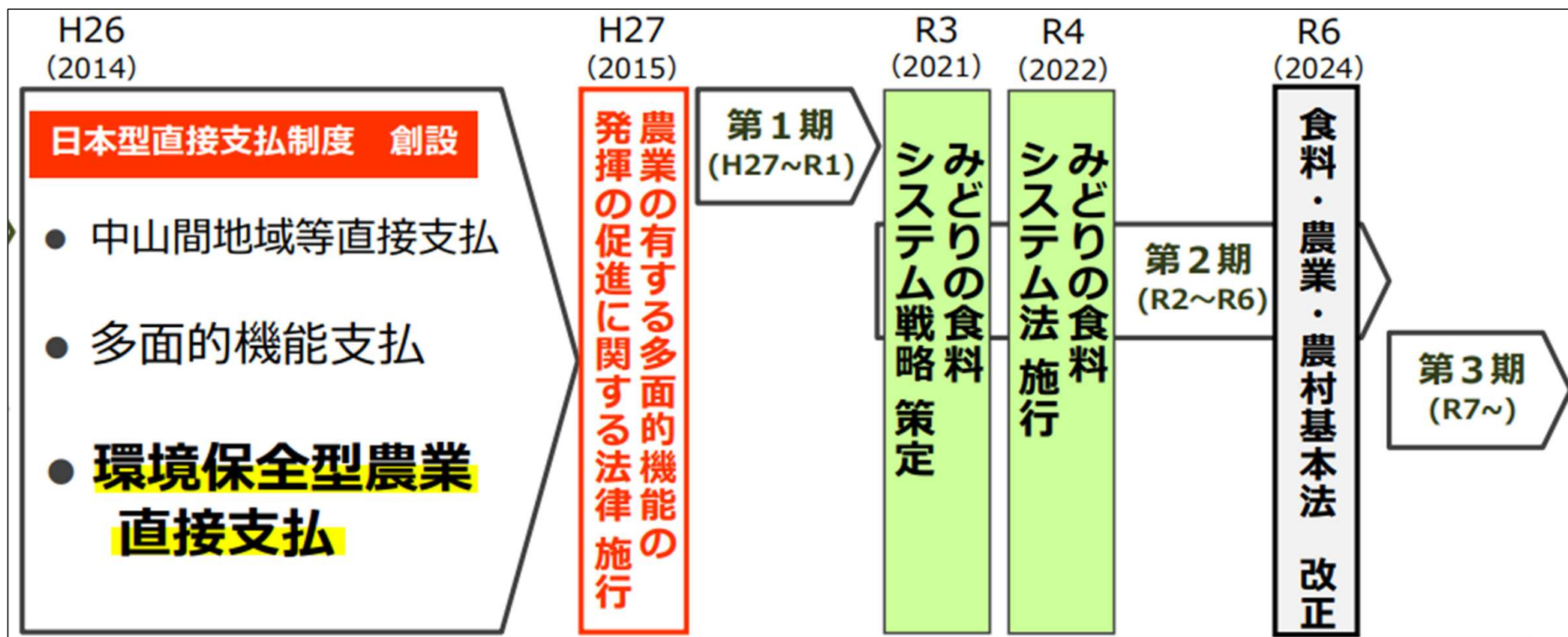
- 1 農業農村多面的機能活動及び **環境保全型農業活動の実施状況**について
- 2 農業農村多面的機能活動及び **環境保全型農業活動の評価**について

## 本日の内容

---

- ① 環境保全型農業直接支払交付金の制度について
- ② R6年度の実施状況について
- ③ R7年度の支援対象について

# 環境保全型農業直接支払交付金制度について



農林水産省WEBページより引用

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou\\_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf)

# 環境保全型農業直接支払交付金は、生産方式に着目

## ＜制度の全体像＞

※ 金額は、R7年度予算額（括弧内は、R6年度予算額）

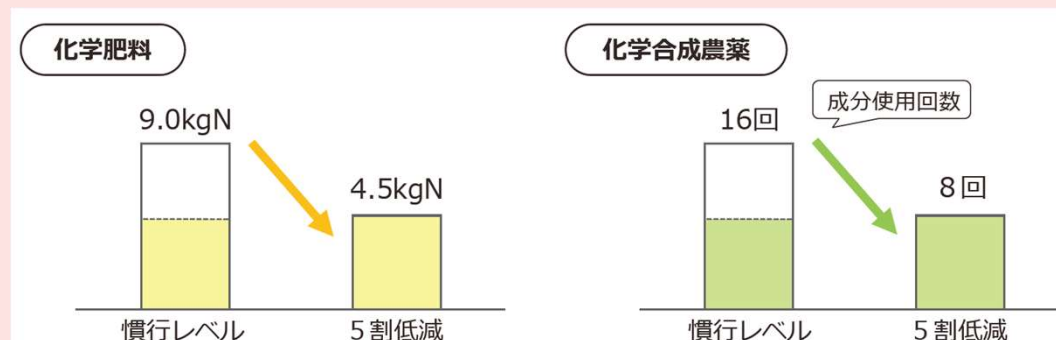


農林水産省WEBページより引用

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou\\_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf)

# 自然環境の保全に資する生産方式とは？

化学肥料・化学合成農薬を  
慣行より **5割以上低減**する取組



図：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

+

地球温暖化防止に効果の高い営農活動  
生物多様性保全等に効果の高い営農活動



写真：農林水産省WEBページ（ [https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou\\_chokubarai/mainp.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/mainp.html) ）より引用

支援対象になるには、上記を2つとも満たすことが必要

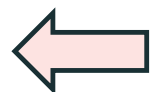


# R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

## 有機農業



支援



## 有機農業取組拡大加算

**交付単価：12,000円/10a**

国際水準の有機農業の実施が必要

- ・ 化学合成肥料及び農薬の不使用
- ・ 遺伝子組換え技術禁止
- ・ 飛散防止のための緩衝帯の設定 等

**交付単価：4,000円/10a**

新たに有機農業の取組を開始する  
同一団体内の農業者に対して、  
指導・助言・相談対応

## 堆肥の施用



**交付単価：4,400円/10a**

炭素貯留効果の高い堆肥を施用

# R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

## カバークロープ



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

**交付単価：6,000円/10a**

栽培期間の前後に緑肥作付け

## リビングマルチ



リビングマルチによる害虫防除（露地野菜）の研究成果より引用  
[https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/midori\\_seminar/attach/pdf/240301-61.pdf](https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/midori_seminar/attach/pdf/240301-61.pdf)

**交付単価：5,400円/10a**

作物の畝間に緑肥作付け

## 草生栽培



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

**交付単価：5,000円/10a**

果樹・茶園に緑肥作付け

# R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

## 不耕起播種



写真：令和6年度環境保全型農業直接支払交付金の  
手引きより引用

**交付単価：3,000円/10a**

全面耕起を行わずに播種(小麦等)

## 長期中干し



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の  
手引きより引用

**交付単価：800円/10a**

通常よりも長期の中干し(水稻)

## 秋耕



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の  
手引きより引用

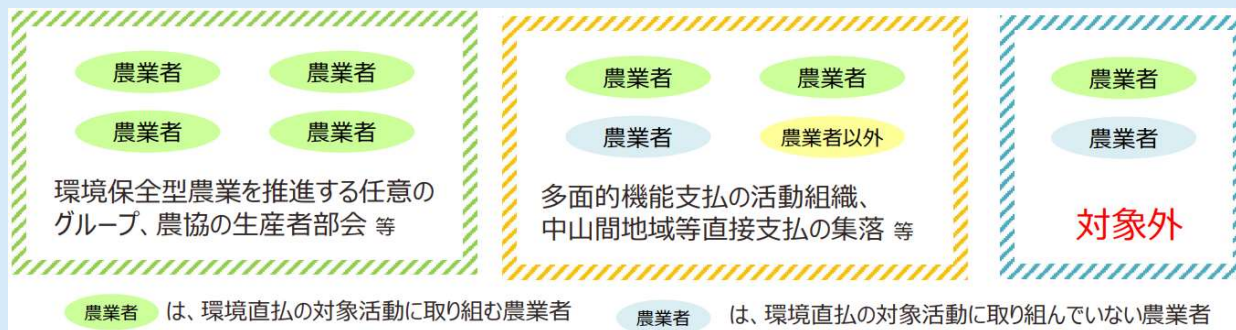
**交付単価：800円/10a**

秋季に耕耘＋春季に湛水(水稻)



# 対象者

## ① 農業者の組織する団体 ※ 環境直払に取り組む農業者が団体内に2名以上必要



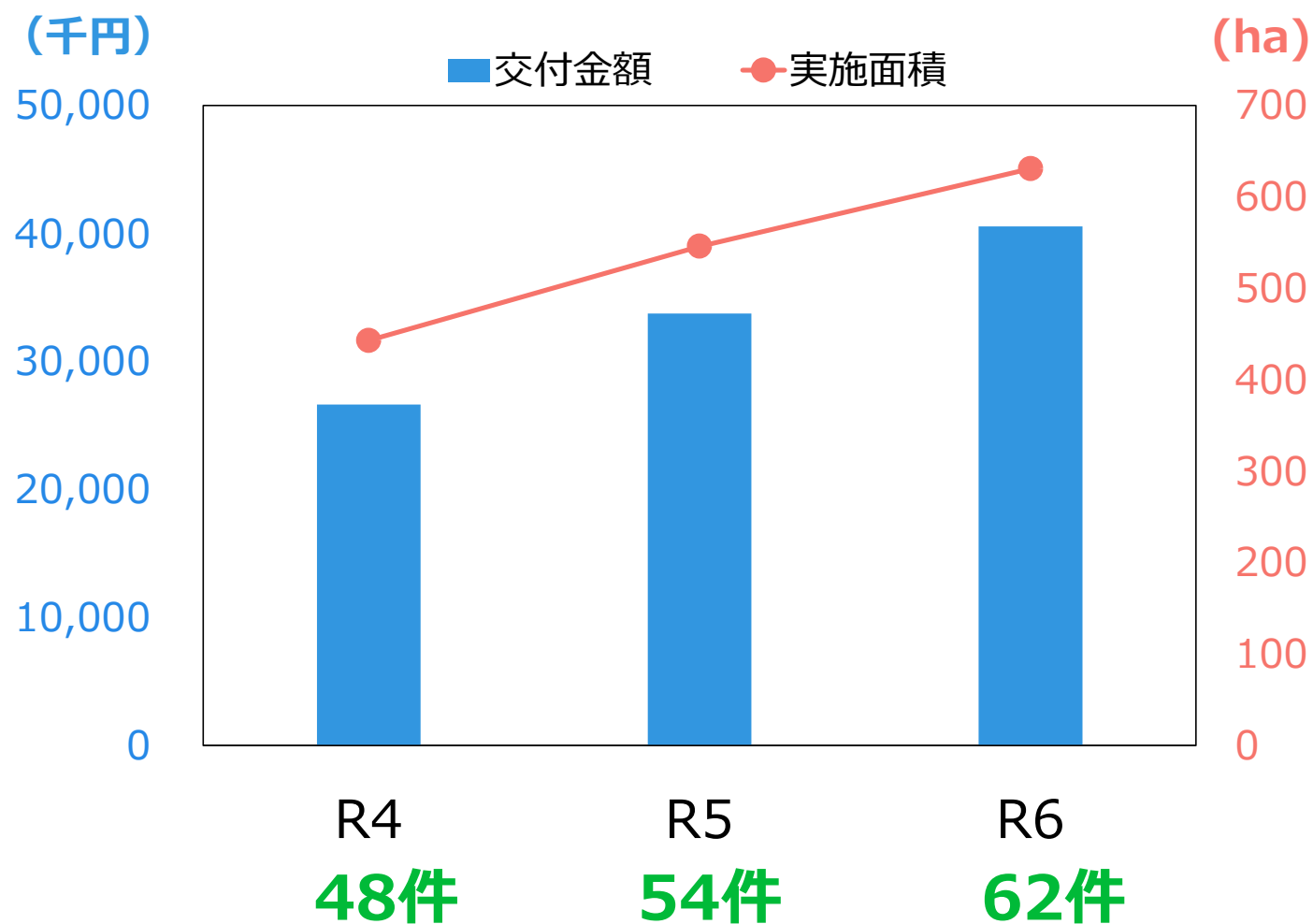
## ② 一定の条件を満たす農業者

- i) 集落の一定割合以上の農地で取組を行う農業者  
耕作する集落又は全国平均の概ね1/2以上 等
- ii) 複数の農業者で構成されている法人  
複数の農業者で構成されている法人（農協除く）

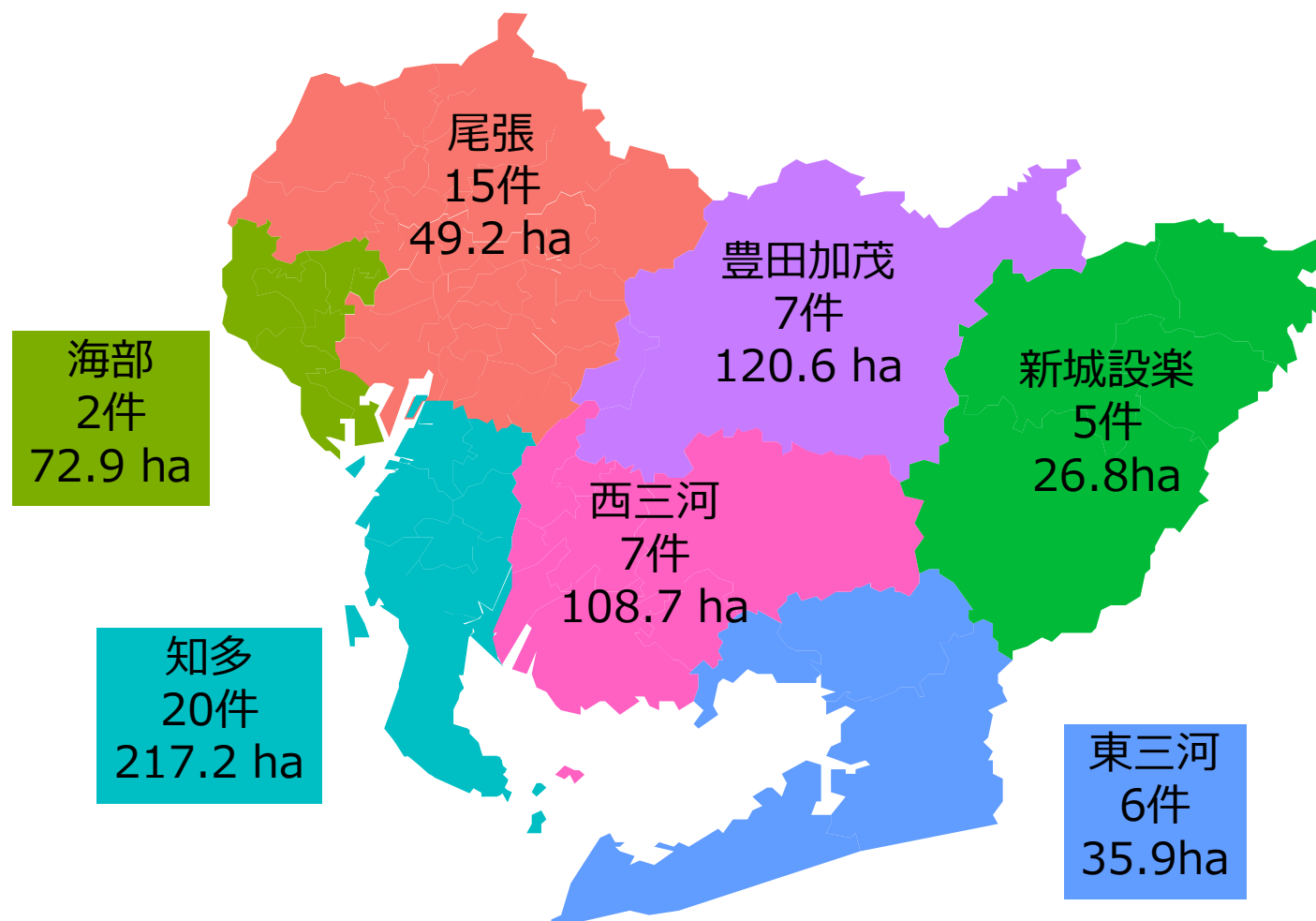
## その他の要件

- I 販売することを目的に生産
- II 環境負荷低減チェックシートの提出

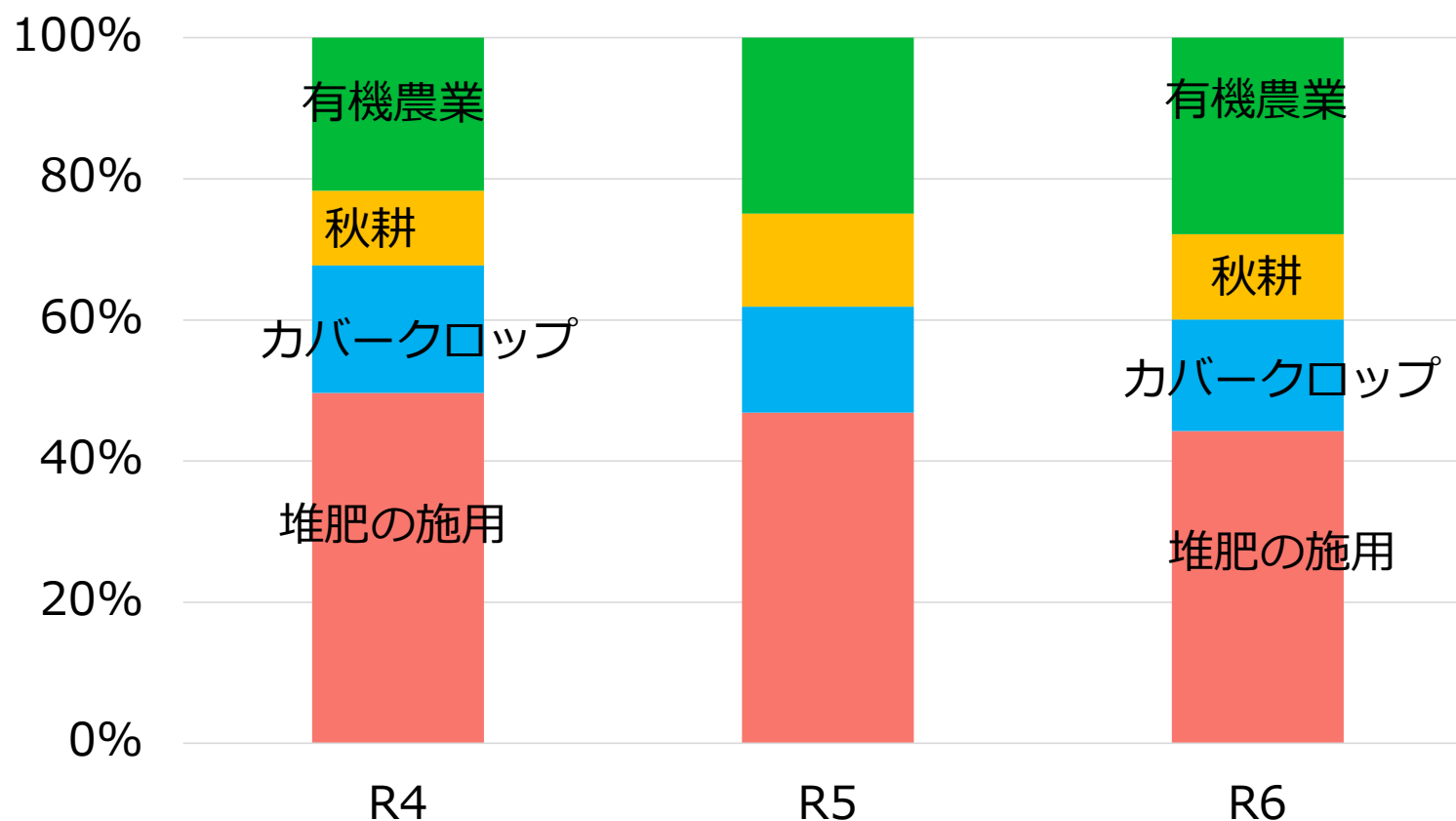
## R6年度の実施状況



## 地域別の実施状況



## 愛知県全体\_取組別の実施割合



全体に占める

・堆肥の施用

・有機農業 の  
割合が高い。

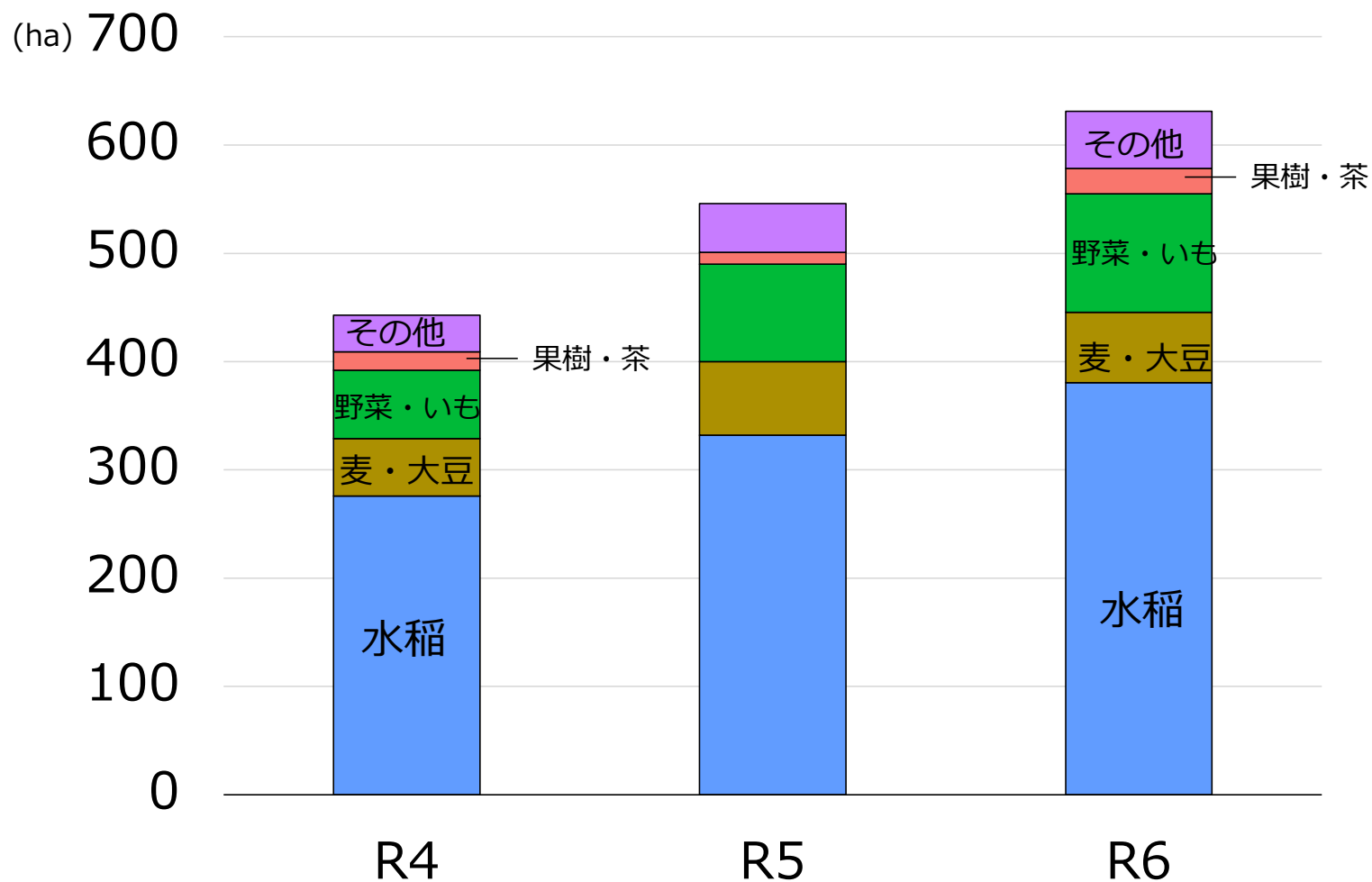
リビングマルチ、  
草生栽培

不耕起播種

長期中干し は「0」



## 愛知県全体\_作物別実施状況



「水稲」での取組が  
最も多い。  
続いて  
「野菜・いも類」

## R7年度から 第3期スタートとなり、支援対象も変更

### 第2期

有機農業	12,000円
堆肥の施用	4,400円
カバークロップ	6,000円
リビングマルチ	5,400円
草生栽培	5,000円
不耕起播種	3,000円
長期中干し	800円
秋耕	800円

### 第3期

有機農業	14,000円
堆肥の施用	3,600円
緑肥の施用	5,000円
(カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培)	
<del>不耕起播種</del>	<del>3,000円</del>
<del>長期中干し</del>	<del>800円</del>
<del>秋耕</del>	<del>800円</del>
NEW 総合防除	4,000円
NEW 炭の投入	5,000円

# 総合防除とは

病害虫や雑草の発生を抑制し、被害を経済的な許容範囲内に抑えるための、  
様々な防除手段を組み合わせた総合的な管理方法。

- ① 都道府県が地域の実情に応じて策定する  
**IPM実践指標**について、管理ポイントの  
**6割以上の取組を実施**すること。

② **主作物が水稲の場合**

- ・ 除草剤を使用しない畦畔の雑草管理

**主作物が水稲以外の場合**

- ・ 交信かく乱剤の利用
- ・ 天敵温存植物の利用
- ・ 天敵等生物農薬の利用

のうち1つ以上を実施すること。

## 愛知県のIPM実践指標（抜粋）

手 法		チェック事項(注)	栽培		
			稲	麦	大豆
病害虫・雑草の発生しにくい環境の二	栽培計画	栽培品種、施肥量、栽培時期、収穫時期、栽培方法などの計画を立てている。	○	○	○
	ほ場の選定	土壌伝染性病害虫の発生が少ないほ場を選択している。	○	○	○
	連作回避	連作障害を回避するため、輪作を行っている。		○	○
	栽培用の水	水源(農業用水、地下水、水道、その他)が明らかな水を用いて、必要に応じて殺菌をしている。	○	○	○
	土層改良	深耕等、透排水性の改善を行っている。	○	○	○
	土づくり	たい肥、緑肥などの有機物を施用し、土づくりをしている。	○	○	○
	有機質資材	たい肥を施用する場合は、病害虫・雑草による汚染を防止するため、十分に発酵したものを使用している。	○	○	○
	適正施肥	定期的に土壌診断を実施している。	○	○	○

# 炭の投入とは

---

**炭を農地に投入すると、土壌に炭素を長期固定でき、地球温暖化の抑制に貢献。  
剪定枝やもみ殻などの未利用バイオマスを原料とすることで、地域資源の循環利用が可能。**

炭は多孔質で保水性・通気性・保肥力を高めるため土壌改良にも効果あり。



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の  
手引きより引用